

# 風と市民が生み出す電気

## 新港地域に大型風車誕生

地球温暖化対策の一つとして、風力発電は有力な方策です。その発電施設である風車が、私たちのまちにも誕生しました。石狩の豊かな自然と美しい環境を未来の子どもたちにバトンタッチ！  
新しいシンボルの登場です。

この春、新たな風力発電施設が石狩湾新港地域に2基誕生しました。

2つの風車は、「NPO北海道グリーンファンド」が設立した「有限責任中間法人いしかり市民風力発電」と「有限責任中間法人グリーンファンド石狩」が設置し、運転を行います。

市は、この風車のうち1基から発生する電力などを全量買い取り、北海道電力(株)などに売却します。

私たちの生活に欠かすことのできない化石燃料などのエネルギー

は、便利で豊かな暮らしをもたらしてくれる一方で、環境の悪化や天然資源の枯渇など地球環境に深刻な影響を及ぼしています。私たちは、次の世代に良好な自然環境を引き継ぐために、限りある資源を有効に活用し、環境の保全に努めなければいけません。市は、2月に「地球温暖化対策推進計画」を策定し、化石燃料の使用に伴う二

酸化炭素排出削減目標を設定し、省エネ・省資源の目標達成のために具体的な対策を講じていくことにしています。これまでの調査では、特に一般家庭や自動車からの二酸化炭素の排出増加が著しく、今後削減に向けて、さらに市民や企業の方々とともに取り組んでいくことが必要と考えています。

今回の風力発電事業は、市の環境問題に対する取り組みの一つとして、平成15年8月に北海道電力(株)が公募した風力発電プロジェクトの自治体枠に、同時期に本市で風力発電事業を実施する予定であった「NPO法人北海道グリーンファンド」とともに応募し、北海道電力(株)から電力受給の権利を得たことにより、実現するものです。

NPO団体が市民出資を募り、市民風車を設立し、市は、そこで発生する電力などを買い取り、北海道電力(株)などの電気事業者に売却することで、私たちの暮らしに必要な電気を自然エネルギーから調達する仕組みとなっています。本市特有の「地域資源」である「風」を活用し、「NPO団体」と「市民」が中心となつてつくる自然エネルギーが、地域活動を支えます。「かりんぼう」と「かぜるちゃん」と名付けられた2基の風車は、「地球温暖化対策推進計画」における二酸化炭素排出削減など、本市環境施策推進のシンボルとして、その活躍が期待されます。



NPO法人  
北海道グリーンファンド  
理事長 杉山さかえ氏

エネルギーの使い過ぎが私たちの未来を脅かす地球温暖化の原因となっていることから、省エネと二酸化炭素を排出しない発電方法として自然エネルギーの普及に取り組んでいます。北海道と秋田に風力発電所を2カ所建設・運営しています。

●問合せ

企業誘致室 ☎72-3158 ✉kouwank@city.ishikari.hokkaido.jp

NPO法人北海道グリーンファンド ☎011-280-1870 🌐http://www.h-greenfund.jp/

# 風車アラカルト

## ■北海道は風車のふるさと

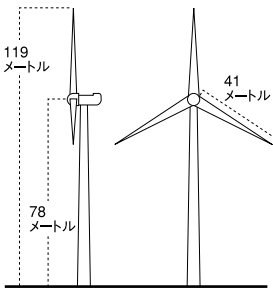
北海道は日本の風車のバイオニア「山田風車」が誕生した土地です。プロペラ材料に軽くて丈夫なエゾマツを利用し、故障も少なく安価で長寿命。戦後の開拓農家の暮らしを灯し続けた風車は、その性能の良さから南米、アフリカにまで広がり、5,000台以上が用いられました。

## ■北海道は日本一風車が多い

現在、北海道には工事中も含めて263基(240,000kW)もの風車があります。そのうち約9割が風の条件に恵まれた日本海側に面した地域に建設されています。

## ■どのくらい大きいの？

羽根の最高到達点が119メートル、羽根が回ることによってできる円の直径が82メートルと、たくさんの風を受けることができる風車です。



## ■風車はどこから来たの？

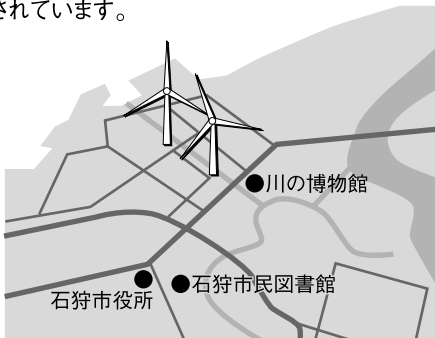
デンマークのベスタスという風車メーカーでつくられた風車です。道内では最大クラスの大きさです。

## ■どれだけ電気をつくるの？

この風車1基で、1,100世帯分に相当する電気をつくります。2基の風車が発電することで、火力発電所と比べて、年間5,658トンの二酸化炭素の排出を抑えることができます。

## ■風車はどこにあるの？

風車は、2基とも石狩川放水路沿いに設置されています。



# かりんぷうと かぜるちゃん

## ふたつの風車がいしかりの風を受けて空を舞います。

NPO北海道グリーンファンドにおいて、市内の小学生を対象に風車の愛称を募集した結果、257通の応募があり、この名前に決定しました。

たくさんのご応募、ありがとうございました。

●名付け親の2人です。



「かりんぷう」  
井口 透くん  
南線小学校1年生



「かぜるちゃん」  
大石 健太郎くん  
生振小学校1年生

強い風は地域では厄介者ですが、地域の資源として、地元で活用し、環境・経済両面の利益を地域に返していきなにかという思いで、風力発電所の建設運営に取り組んでいます。北海道は風力発電に適した土地が多く、私たちは3年前から石狩湾新港地域で風況調査を始めておりましたが、良い風と、地球温暖化問題に取り組む石狩市の協力もあり、風車を建設することができました。これからは、風車の見学会や環境教育など地域のみならずと協力しながら、地球環境やエネルギーのことを広く伝えていく場として活用していきたいと考えています。どうぞよろしくをお願いします。